

平和ってなんだろう

那覇市立真和志小学校六年 大宜見 青空

今の日本は、世界の国々と比べて、平和な方だと思います。他の国は、自国で戦争が起きたりしています。しかし、今の日本は戦争などまったく起きていません。また、殺人事件なども他の国に比べて少ないと思います。それくらい、今の日本は安全ということです。

しかし、今の日本の現状からは想像がつかないと思いますが、日本でも昔は戦争が起きていたのです。しかも、戦争が起きていたのは、ぼくが住んでいる「沖縄」なのです。ぼくが七さいの時に、おばあちゃんから初めて、沖縄でも戦争がおきていたよと聞いて、ぼくはおどろきと、悲しみで心がいっぱいになりました。しかも、この戦争でなくなった方の中にはぼくのおばあちゃんのお二人がなくなっているよとも聞かされました。ぼくはその時に、戦争はたくさんの方の命がうばわれているのだなと思いました。おばあちゃんの話聞いてると戦争の怖さや、大変さがどんどん伝わってきました。

空からは空くゆうをうけて、雨のようにたくさんばく弾が落ちてきたりしていました。また、アメリカ兵から身を守るために、洞窟の中にかくれて、ばく弾をさけたり、少ない食料をみんなに分けて、食べたりしたそうです。

一番辛かったのは、アメリカ兵がうった鉄砲の玉が、足にあたっけがをした母親をそのままこの洞窟に残したまま、自分たちは他の洞窟へ逃げた事が、悲しくて仕方なかったそうです。ぼくのおばあちゃんはその泣きながら話してくれました。その時の、おばあちゃんは六さいだったそうです。

逃げる途中、のどが乾いた時に、道にできている水たまりの水を飲むと、実は、なくなった方から流れてできた血でできた、水たまりだったそうです。

おばあちゃんは、戦争の話したらあのころの記憶がよがえるから、あまり話し

たくないと言っていました。でも、若い世代に、戦争のおそろしさを、知ってほしいから、あえて、ぼくに戦争のおそろしさとこわさを話して記憶に残してほしいし、次の時代へもひきついでほしいと話していました。

ぼくたちは、ぼくのおばあちゃんのように戦争で子供が一人ぼっちになることが、二度と起こらないようにするべきと、ぼくは思います。

二度と戦争は、起こしてはいけません。

大人も子供も、みんな命は一つ一つがとても大事だと思います。

その尊い命を人がうばってははいけません、

みんなで、その大事な命を守りあっていくべきだと思います。

沖縄の方言に「命（ぬち）どう宝」という言葉があります。この言葉は、命が一番の宝で、命あってこそ、人は生きていける。という、すばらしい言葉です。

沖縄は、日本の国の中でゆいー、地上戦が起きた県です。だからこそ、あんなすばらしい方言が沖縄にはあります。

この言葉をむねに、みんなで地球の平和を守っていききたいと思います。